

# 報酬等の支給基準

## 定款第2章 第9条（評議員の報酬等）

評議員の報酬については、評議員の地位にあることのみによっては、支給しない。

費用弁償については、市外へ出張等があった場合に日当として1日につき2,000円を支給する。

宿泊を伴う出張で職務遂行に発生する旅費を支給する場合は、居住地を起点として交通費と宿泊費を計算する。この場合、一般的に利用する鉄道の最短経路を通常の経路として旅費計算する。

旅費（航空賃、鉄道賃、船賃、車賃、宿泊等）に関わる割引制度がある場合は、すべて適用されたものとして計算する。

## 定款第4章 第23条（役員の報酬等）

理事及び監事の報酬については、勤務実態に即して支給することとし、理事及び監事の地位にあることのみによっては、支給しない。

費用弁償については、市外へ出張等があった場合に日当として1日につき2,000円を支給する。

職務遂行に伴い発生する旅費（交通費、宿泊費を含む。）を支給する場合は、居住地を起点として計算する。この場合、一般的に利用する鉄道の最短経路を通常の経路として旅費計算する。

旅費（航空賃、鉄道賃、船賃、車賃、宿泊等）に関わる割引制度がある場合は、すべて適用されたものとして計算する。

この基準の改廃は、評議会の決議によって行なう。

## 附 則

この基準は、令和3年6月15日から施行する。